

技術・家庭科 授業案

日 時 : 平成27年 10月 1日(木)

1. 題 材 名 家庭分野 2編 わたしたちの衣生活と住生活
1章 衣生活と自立 「衣服の手入れをしよう」

2. 小 題 材 名 基礎技能 ～ ほころび直し と スナップ付け ～

3. 小題材について

本小題材は、学習指導要領における「C 衣生活・住生活と自立」(1)衣服の選択と手入れ ウ.衣服の材料や状況に応じた日常着の手入れ」の基礎技能にあたる。

近年、衣生活の傾向として、既製服を手軽に且つ安価でも購入できる状況が多く見られる。流行の移り変わりや好みの変化に合わせて頻回に買い替えることもめずらしくはないといえる。また、ほころびや丈の調整なども業者によるサービスに頼ることも多い。しかし、衣服の材料や成り立ちを理解し、基礎縫いの技術を身につけることができれば、大がかりな修繕ではないかぎり、中学生が補修することは可能である。ここでは、小学校で学習してきた「日常着の手入れ」を基盤に、中学生にとっての日常着である「制服」の補修を例に、ほころび直しとスナップ付けを取り扱う。中学校入学から半年が経つ。例年、この頃から、スカートやズボンのすそやウエストのホックがほころぶ生徒がみられる。いざという時に「自分の制服を自分で直す」ことをめざして、本題材に取り組ませたい。一番身近な衣服の補修をきっかけに、家庭での衣生活にも技能を生かすことができれば、安易な購入や廃棄を減らすなどの環境への配慮も含め、かしこい消費者としての意識の向上につながると思う。また、「ものを大切に作る心」「つくってくれた人や買ってくれた人への感謝の心」などの醸成も期待できるのではないだろうか。

基礎的・基本的な知識及び技術を習得することで、対象物への関心と理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てることにつなげたい。

4. 生徒観

省略

5. 釧路町学校教育研究会技術・家庭科部会研究テーマと本時案とのかかわり

本部会では、「生きる力をはぐくむ授業づくりと教材研究 ～小中のつながりを意識した教材・教具の活用～」を研究テーマに活動している。今年度の視点は、「興味・関心をひきだす教材・教具の工夫」「小中のつながりを意識した取り組み」である。

◎「興味・関心をひきだす教材・教具の工夫」～「生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる」技術・家庭科における必須課題である。身の回りにあることがあたりまえで特段の意識をすることなく消費しているものの成り立ちや仕組みに目を向け、技術を学ぶ。このことに意欲的に取り組むためには、教材との出会いが重要となる。「なぜ」「どうして」「どうすれば」という意欲喚起や思考の深まりには、導入や展開の要所で実物や模型にふれることが効果をあげると考える。

本時では、「制服のほころび直し」を想定した「まつり縫い」の技術を身につけさせる。そのために、実物を提示することで、まつり縫いの必要性を実感させたい。また、技術の習得においては、扱いやすい教材を用いることと、示範をリアルタイムで大型テレビに映すこと等で、理解をすすめたいと考えている。

◎「小中のつながりを意識した取り組み」～部会では、教科書の交流や学習内容について話し合いをしてきてはいるが、少人数部会のうえ、小学校の部員は学年の配置上、家庭科を担当していないという状況下での研究初年度である。

本時では、小学校における既習事項が定着していることが前提となる内容を取り扱う。しかしながら、その個人差は大きい。毎時間の授業の冒頭で、ウォーミングアップを兼ねた運針練習を重ねることとしている。

6. 題材の目標

- ・衣服の手入れをすることができる。
- ・補修の目的や布地に適した補修の方法を理解できる。

7. 題材の評価規準

生活や技能への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れに関心をもち、補修の課題に取り組もうとしている。	衣服の材料や状態に応じた補修について考え、工夫している。	補修の目的と布地に適した方法で、衣服を補修することができる。	補修の目的と布地に適した方法について理解している。

8. 小題材の指導計画(5時間扱い)

時	おもな学習活動	評価規準及び評価方法			
		生活や技能への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
1	○小学校の復習 (玉結び・玉どめ・並縫い・返し縫いの確認)	裁縫の基礎技能に関心をもって取り組んでいる。 【観察・学習カード】			
3	○ほころび直し (まつり縫い) ○スナップ付け ※本時2/3時間目	まつり縫いとスナップ付けに関心をもって取り組んでいる。 【観察・学習カード】	まつり縫いとスナップ付けのコツを見つけることができる。 【発表・学習カード】	ポイントとコツを意図して、まつり縫いとスナップ付けができる。 【観察・練習教材】	
1	○確認テスト (実技・ペーパー)			・裁縫の基礎技能を身につけている。 ・道具を安全に効率よく扱うことができる。	まつり縫いとスナップ付けの方法について理解している。

9. 本時案

(1)本時の目標

- ・「まつり縫い」のコツをみつけることができる。(工夫・創造)
- ・「まつり縫い」のポイントとコツを意識して縫うことができる。(生活の技能)

(2)本時の展開

学 習 活 動	形 態	時 間	おもな働きかけ	☆教材・教具 ◎評価
1. 既習事項で運針練習 ・「玉結び」「玉どめ」「本返し縫い」	個・ペア	6分	・前の時間よりも「多く」「きれいに」縫えていますか。	☆タイマー
2. 前時のふりかえり ・制服のスカートのすそを観察し、まつり縫いのポイントを確認する。 A. 通常の状態のもの B. まつり縫いで補修されたもの 3. 学習課題を知る。	全	3分	○まつり縫いのポイントを確認しましょう。	☆実物投影機, テレビ ◎発表・観察
「まつり縫い」のコツをつかもう！				
4. まつり縫いに取り組む。 (1)示範を見て、方法を知る。 (2)示範にあわせて、縫う。 (3)各自で取り組む。 (4)グループで取り組む。 〈手立て〉 ・見本の観察 ・グループでの学び合い ・示範(実物投影機, テレビ) (5)気がついたコツを発表する。 (6)より上達するように取り組む。	全 個 グループ 全 グ	5分 30分	○まつり縫いの方法を観察しましょう。 ○一緒に縫ってみましょう。 ○まつり縫いの練習をしましょう。 ○グループで解決しましょう。 ※〈手立て〉で解決できない場合は、直接示範する。 ○まつり縫いのコツを交流しましょう。 ○コツをいかして、縫いましょう。	◎観察 ☆実物投影機, テレビ ☆生徒用教材 ☆まつり縫いの見本 ◎発表 ◎観察
5. まとめとふりかえり 学習カードに記入する。 ・あとかたづけ	個	6分	○まつり縫いのコツを記入しましょう。 ○今日の学習についてふりかえりを記入しましょう。	◎学習カード
6. 次時の学習内容を知る。	全		○まつり縫いで運針練習をし、スナップ付けを学習します。	

(3)板書計画

